

脱原発と私たち—講演と討論の会<第30回>—

日時：2019/11/3（日）14:00-17:00

会場：宮坂区民センター 大会議室（世田谷線 宮の坂駅下車）

講演：「未来へとよりよい地球を引き継ごう」 桑折 恭一郎

1942年、東京生れ。東大工学部電気工学科卒、技術士（電気・電子専門）

日本国有鉄道、日本テレコム、J-フォンで通信の自由化担当

地球温暖化問題については前回、「今か？未来か？」と題して皆さんと一緒に考えました。概要は次のようなことでした。

- ★ 地球温暖化の問題、温室効果ガスを減らすことは知っている
- ★ 地球の現状とそれに対する世界の動きは大きくかけ離れている
- ★ これを世界の人々が知ることこそ重要かつ緊急な課題である

温室効果ガス排出削減はスピードアップされねばなりません。地球上に降り注ぐ太陽エネルギーは需要をはるかに上回り、日本でも、国土の約3%に太陽光発電設備を設置すれば全電力を賄うことが出来ます。でも、すべてを太陽光発電に頼ることは得策ではなく、水力、風力、バイオマス、地熱など使えるものはすべて使う必要があります。しかし、これらのエネルギー、特に太陽光、風力は、大量導入に大きな問題があり、日本ではいち早くこの壁に直面し、思うように進みません。基本的には電力の安定供給という技術的問題ですが、経済的、制度的な問題もあります。今回は再生可能エネルギーの問題点を洗い出し解決案を考えます。

地球環境問題を開拓するためには、エネルギーだけを考えてはなりません。SDGs (Sustainable Development Goals=「持続可能な開発目標」= 2015年国連サミットが採択) に見られる、地球が抱える大問題と併せて進めなければなりません。それを解決するのは国だけではなく我々（自分、地域、企業、自治体など）も行動を起こす使命があります。日本、世界の動きを紹介しつつ、皆さんともに考えたいと思います。

討論 「脱原発を考える」 資料代など：500円

主催：「脱原発を考える会」 協力：「チーム世田谷」

会の世話人＝児玉三枝子：小西怜実：宇都宮和代：桑折恭一郎